

# 平成22年度 吉田小学校の教育

(ランドデザイン)

平成22年4月版

## 22年度吉田小学校教育の重点

### 今日的な教育課題

- 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚。
- 自ら学び、自ら考える力の育成。
- 心の教育の充実。
- ゆとりある教育活動を展開するなかで、基礎基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実。
- 各校が創意工夫を生かし、特色ある教育を進める。

### 吉田の子どものよさ・課題

- 学校生活を友と仲良く認め合い、励まし合って和やかに過ごそうとしている。
- 学習に一生懸命に取り組もうとしている。
- 自分らしさを出し、友と助け合いながら、自ら判断し行動していく力がさらに育ってほしい。
- 深く思考したり自らの力でねばり強く最後まで追究したりし、学習や活動の価値をつかみとっていく力がさらに育ってほしい。

### 学校・地域の実態

- 市街地に位置する全校児童約800名の大規模校であり、学級数は27学級。
- 都市化に伴い、人々の出入りが多い地域社会であり、住民同士の結びつきを大切にしようと、数々の地域活動に取り組んでいる。
- 核家族の少子化の家庭が多い。
- PTAの組織がしっかりしており、学校と共に、吉田の子どもたちを育てようとしている。

長野市教育大綱 「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」

「敬愛の心」を培い自律心や創造力を養うことを基底にして、深く豊かな人間性の実現をめざす

・思いやりの心の陶冶 ・清らかな情操 ・基礎的な学力 ・強靱な意志、体力

**建学精神** **積成** 小さいことでも少しずつ積み重ねて大となす  
明治7年2月、地域の願い「積成学校」として開校。本年で137年の伝統をもつ。

**学校教育目標**  
なかよく たくましく 学び合う 吉田の子ども

### ○私たちのねがう学校教育目標を具現したすがた

- 1 共に感じ、味わうことを求める子ども
- 2 分からないことが楽しいと感じ、自ら学んでいく子ども
- 3 友と作り出すことのうれしさを感じる子ども

### ○学校長の学校経営の重点（ねがい） 自分らしく輝ける子ども

安心でき 安全で 楽しい学校

- 1 確かな学力 ～学び合い～
- 2 豊かな心 ～なかよく～
- 3 たくましさ ～たくましく～
- 4 吉田の子ども～地域を愛する子ども～
- 5 地域に根ざした教育 ～信頼される学校作り～
- 6 職員の一層の資質向上

## 今年度のキーワード

**共に感じ、学び合いひびき合う学校**

(全校研究テーマ 課題をもち、ひびき合い追究していく子ども)

達成するための3つの柱

**柱1**  
**学び合う授業**  
確かな学力  
わからないことを楽しいと感じ課題を持ち、基礎基本の内容を確かに定着させ、共に学び合って問題を解決していく力

**柱2**  
**心のひびき合い**  
支え合い  
高め合う学校  
友と支え合い、ひびき合い高め合って、共に学び生活していく心

**柱3**  
**汗を流し体を通して学ぶ子ども**  
時を守り場を清め礼を尽くし、進んで体と心を鍛える心

本年度の吉田の教育の重点は  
次の点に力を入れていきます

### 1 学び合う授業 確かな学力

- (1) 子どもたち一人一人の思いや課題を大事にし  
子ども同士が学び合う授業実践
- (2) 子どもたちの心を知り、学びのすがたに寄り  
添っていくための授業研究
- (3) 基礎基本の確かな定着を目指し **ドリルタイム**  
補完・補習・自主学習の時間
- (4) NRT・CRTの実施と学力保障

積成の時間

## 共に感じ、学び合いひびき合う学校

### 2 心を高め合う学校

- (1) 子どもが創り出す**全校音楽集会**
- (2) さわやかな**あいさつ・靴そろえ・清掃**
- (3) 思いやりがあり差別のない学校・学級づくり
- (4) **交流活動**

< **共遊** (姉妹学級との交流活動)、縦割り活動、児童集会、  
**クラブ活動** 吉田子ども祭 みどりの活動 (飼育栽培)

(飼育栽培)、異文化体験、勤労生産的活動 地域との交流 >

- (5) **全校読書**

地域から学ぶ  
地域と交流

自分らしく輝ける子ども

ふるさと(吉田)を愛する吉田の子どもたち

子どもの安全を地域と学校で守るために

- ・安全教育の充実
- ・子どもたちの登下校・学校生活の安全のための体制
- ・子どもを守る地域安全ネットワーク・「大いちょうパトロール隊」(住民自治協議会)

学校自己評価によるPDCAサイクル

- ・学校よりの情報の発信・共有化
- ・外部方による評価

以上の吉田の教育活動を支えるものとして

- 1 全校の縦系を通し、教育方針に沿って、子どもを育てていく。
- 2 小回りがきき全校をリードする校務分掌・責任共同体としての学校
- 3 同僚性のもとで、職員同士が学び合いひびき合っていく研修体制
- 4 自らの課題をもち、自らを高めていく職員集団